

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

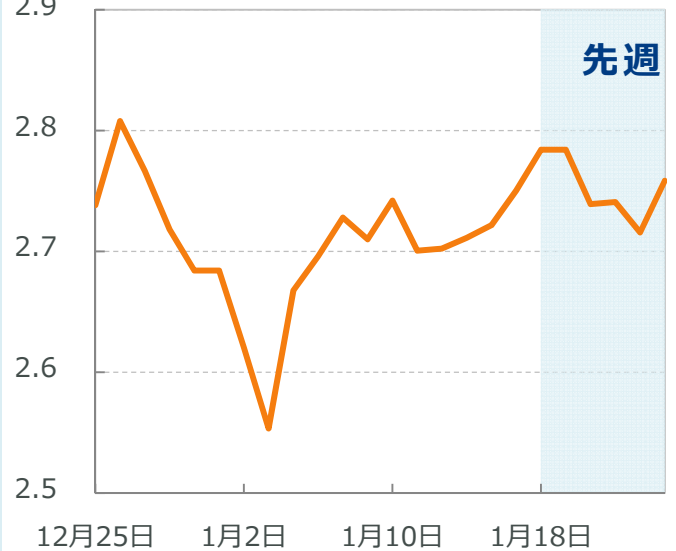
※データ期間は2018年12月25日から2019年1月25日（日次）

【2019年1月21日～2019年1月25日】

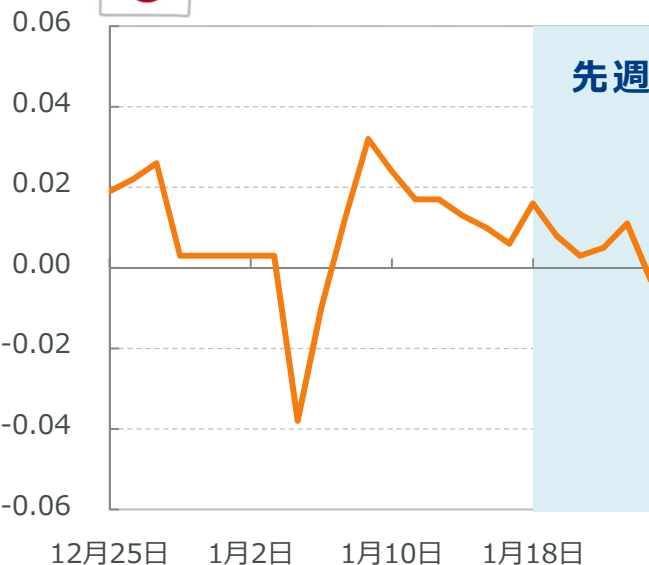
国債買われ利回りは低下

- ◆国際通貨基金（IMF）が世界の経済成長率予測を下方修正したことを受けて投資家のリスクセンチメントが悪化し、安全資産とされる国債の買いが世界的に進みました。
- ◆日本の国債利回りは、日銀が金融政策決定会合で2019年度の物価見通しを下方修正したことも低下圧力となりました。
- ◆欧州債は、1月のPMI統計が失望を誘う内容だったことや欧州中央銀行(ECB)のドラギ総裁が「ユーロ圏経済見通しのリスクは下向きに転じた」との見方を示したことが材料視されました。

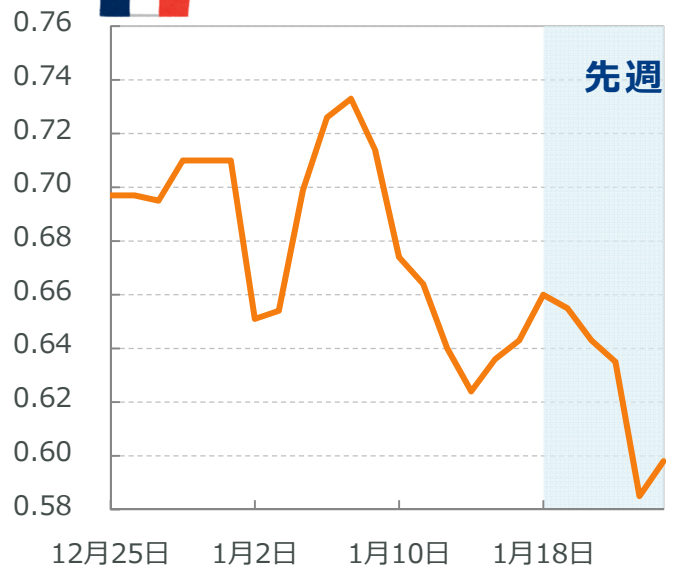
(%)  米国10年国債利回り



(%)  日本10年国債利回り



(%)  フランス10年国債利回り



出所：Bloomberg 1/2

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみざん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

※データ期間は2018年12月25日から2019年1月25日（日次）

【2019年1月21日～2019年1月25日】

米ドルは軟調な動き

- ◆29-30日の米FOMCを控えて投資家の様子見姿勢が続く中、中国GDP成長率の減速や世界経済の先行き不透明感などが材料視され米ドルは弱含みました。

ユーロ・豪ドルは一進一退

- ◆ユーロはドラギ総裁発言が利上げ時期の後ずれを示唆したものと受け取られたものの、ユーロへの影響は限定的でした。
- ◆豪ドルは雇用統計を好感して上昇する場面もありましたが、大手銀行の住宅ローン金利引き上げを嫌気して週間で横ばいでした。

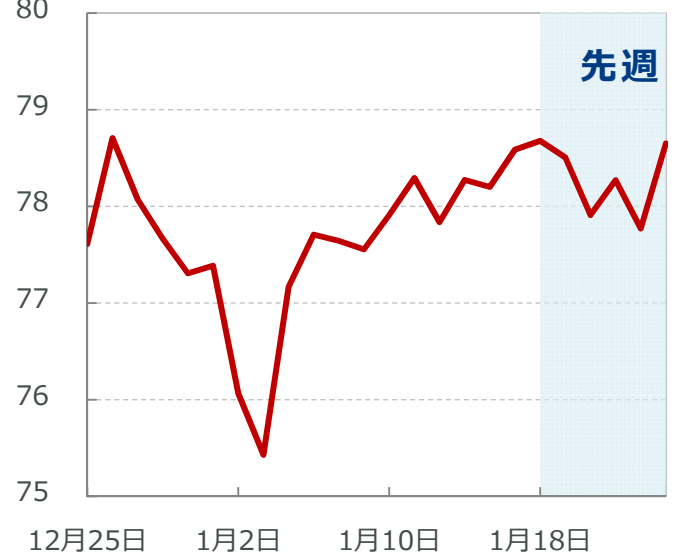
(円)  **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



出所：Bloomberg **2/2**

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみざん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会